

# 歴史と文化が息づくまち



## 播磨町

『播磨』は、“播磨の国”や“播州地方”の呼び名が示す通り兵庫県南西部一帯の広い地域を指す名称です。昭和37年4月に町制を施行したとき、当初「阿閑村(あえむら)」であった本町は、これからも大きく発展するようにとの願いを込めて『播磨町』と名付けられました。

町の面積は9.13km<sup>2</sup>と兵庫県で最も小さく、そのうち約30%が海を埋め立てた人工島です。現在、これらの人工島では製造業を中心に約60社が操業しており、東播磨臨海工業地帯の一翼を担っています。

また、JR山陽本線「土山駅」と山陽電鉄「播磨町駅」の2駅があり、神戸駅から約40分、姫路駅から約30分の位置にある交通至便な町でもあります。



播磨町マスコットキャラクター  
「いせきくん」と「やよいちゃん」



喜瀬川の桜



播磨灘の夕日



野添北公園の紅葉



土山駅前イルミネーション



夏の風物詩「干しだこ」

国指定史跡「大中遺跡」

